



3月15日(火曜日) 新生徒会による学校運営協議会での熟議
黒石中学校

コロナの感染拡大により各種会合等が中断されていましたが、先週から学校運営協議会も再開されました。この時期の学校運営協議会は、次年度の学校運営方針を承認する大事な協議が行われます。黒石中学校でも順延となっていた学運協が、ようやく開催できました。2年生の新生徒会役員が、地域の委員さんたちと「中学生ができる地域貢献と地域ができる学校支援とは」というテーマで熟議を行いました。3学期中に話し合いができたことで、4月からは、協議されたことを実行に移す段階へと進むことができます。協議会で「学校は大人の生涯学習の場でもある」という声が聞かれた黒石中学校での今後の地域連携・協働の取組に期待したいと思います。



3月9日(水曜日) 地域の先生によるそろばん学習
上宇部小学校

3年生と4年生では、3学期の算数科でそろばんの学習があります。学校でのそろばんの学習は基礎的な使い方を知る程度ではありますが、日本の伝統的な「計算機」であるそろばんの玉の配列やその仕組みの素晴らしさを体感する大切な学習です。上宇部小学校では、3、4年生各教室で、1時間ずつ、地区内でそろばん教室を主宰しておられる方に来ていただいて、より楽しく分かりやすく教えていただきました。



2月16日(水曜日) 地域学校協働活動とは 原地区 社会教育推進委員会研修会

本市では、学校づくりと地域づくりの一体的な推進を目指し、地域と学校の協働活動を進める役割を社会教育推進委員会(社教推)に担っていただいています。原地区では、協働活動のあり方についての理解を深めるために、協働活動推進員や市教委担当者を招いて研修会が開催されました。推進員からは、学校との協働活動の様子が詳しく報告されるとともに、これからの課題についても話がありました。各委員からは、社教推委員として学校の活動の情報をもっと知りたい、協働活動は新たな人材の育成につながるなど、前向きな意見が多く出されました。本市では、年度最後の学校運営協議会に、社教推委員のオブザーバー参加を予定しています。



2月1日(火曜日) 地域の偉人の逸話の紙芝居をyoutubeで配信 上宇部中学校

上宇部中学校では、江戸時代末期の長州藩の家老で、上宇部の中尾に居を構え、宇部市の発展に努めた福原越後公の逸話を地域の歴史家のご指導の元で美術部員が紙芝居にし、毎年春の福原祭りなどで歴代の生徒会役員が披露してきました。このたび、令和3年度の生徒会役員が動画を作成し、youtubeで配信をすることにしました。地元の偉人を大切にする上中伝統の紙芝居を是非ご覧ください。



1月20日(木曜日) 地域と学校をつなぐ重要な役割を 宇部市地域学校協働活動推進員研修会

宇部市では、本年度すべての地区で地域協働活動推進員を委嘱しています。この推進員は、地域と学校の連絡調整、情報の共有、活動の企画、調整、運営、啓発等の役割を担う学校づくり、地域づくりのキーパーソンです。初めての研修会では、下松市の2地区の推進さんから先進的な実践事例を学び、今後の活動についての協議と情報共有を行いました。夕方からの開催でしたが、大変熱心な研修会となり、今後の各地区での取組の充実が楽しみです。



1月20日(木曜日) 未来の厚東を創造しよう 厚東小学校

6年生児童が地域の方々（学校運営協議会委員・社会教育推進委員会委員）と一緒に、未来の地域について意見を交流(熟議)しました。前半は、「こんな厚東になってほしい」という夢・理想を、後半は「そのためにはどうすればよいか」という考えを交流しあいました。児童からは「高校があったらいい」「今と変わらない厚東地区がいい」「山を削らないでほしい」、地域からは「若者に農業に興味を持ってもらいたい」「世界で活躍する子供がたくさん出る地域（拠点は厚東で）」など、切実な意見や夢が交流されました。ここで出された意見を学校で、地域で実現に向けてさらに深めていってほしいと思います。



1月8日(土曜日) 赤間硯リーフレットの展示inこもれびの郷
万倉小学校

4年生が、社会科・総合的な学習の時間・国語科を通して作成した赤間硯のリーフレット3種類が、「こもれびの郷くすくすの湯の休憩スペース」に展示されています。児童の絵画作品展と一緒に並んでいるので、さながら「万倉小コーナー」のようです。内容は、赤間硯の良さと美しさや、作り方、魅力が紹介されています。赤間硯の里を見学して日枝さんから学んだことや、相手に伝わるリーフレット作成の仕方を学んだことが活かされています。